

前回(第14回)市民会議で出された「まちの将来像に掲げたいキーワード」

(分科会 1)

まちの将来像に掲げたいキーワード	キーワードに込めた思い
その人らしく	多様性を尊重し, 認め合う
安心	強制されず, その人らしく生きられる
ともに〇〇	生きる, 認め合う, 支え合う, 伴走する, 寛容さ, すす, いる
<p>(その他にも)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 心豊か • ありのまま • 共に生きる • 理解し合える • 寄り添う • つながり • 心と体の健康 • オキシトシン (つながり) • 強制しない, 心地よく, すこやか • ありのままの自分 • 一緒に生きる • 認め合う (い) • 取り残されない • 伴走 • ドーパミン (達成) • WellBeing • 自分らしく • 共生社会, 多様性, 多様な人々がいる • 一人一人が • 支え合う • 寛容な • 抱えこまない • セロトニン (幸福) • みんなのしあわせ 	

(分科会 2)

まちの将来像に掲げたいキーワード	キーワードに込めた思い
<u>自分らしく</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 多様性が拡大していくが, 多様性が窮屈になることではなく, 自分らしく生きていけるまちであってほしい • 「ゆるくつながれる」という部分が「自分らしく」に直結すると思う • これから必要な要素だと思う • ゆるやかにつながりたい人はゆるやかに, がっつりつながりたい人はがっつりつながることができれば • 「こうでなければいけない」とかの窮屈さないほうがいい。それぞれの家庭やそれぞれのつながりがある。他人と比べて窮屈になってしまうのではなく, 自分は自分で。 • 個性的が褒め言葉になる
安心	<ul style="list-style-type: none"> • 生活している人にとっては「安心して住めるまち」が大事 • 自分らしく暮らす前提に安心, 安全とかがある • 個を大事にする
市民参加	<ul style="list-style-type: none"> • 市民が自分事として考えて, 行政にみんなの考えが行き届くように, 自分の考えが発信できるように, 市民が参加できるまちであることが前に出せると良い。 • 受け身だけでなく, 自分も発信する立場になれる。 • 市民参加は行政の用意した場に参加してください, というもの。協働は双方で取り組むもの。

共創	<ul style="list-style-type: none"> ・やっていくことがそれぞれに良く波及して社会が良くなっていく考え(クリエイティブシェアードバリュー(CSV)) ・それぞれの強みを使って全体をよくしていこうという考え ・この考えは多様な価値を重視するという考えともつながっていると思う(「自分らしく」にも似ている)
ともに	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしくありつつも、「ともに」やっていく。 行政と市民, 市民と市民も「ともに」取り組んでいく気持ちがあるとよい。 ・一緒に作り上げる
わくわく	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会2では全分野にわくわくの要素が入っていたので分科会2ならではのキーワードとして。 どの分野でも自分の中でのわくわくは必要。生きがいになるような, 楽しめるような ・なにができるか, どんな未来ができるか, というわくわく感。これから生み出されるものに対する期待, わくわく感も含まれている ・今ある魅力にもわくわくする
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな価値 ・創造, つくる ・未来 ・伸びしろ <p>(未来志向の単語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな価値, 創造, 未来とか, 未来志向の言葉を入れたい。 ・現状維持じゃなくて新しいことに取り組んでいく, とか。 ・どんどん新しいものを作っていきたいという意思表示を示していければよい。 ・「花開いた」まちを次期基本構想で描くべき(前回は花開くまち)※方向性として ・調布の弱いところをポジティブに伝えられるように, インクルーシブな情報発信。キャッチアップ。遅れを取り戻すとか突き進むとか。新たな価値に対して突き進む。
彩(いろどり), 鮮やか	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく, 多様性, の要素も含まれる ・白黒でなく, 鮮やか。 ・いろんな主体がある
永遠, 永遠に	<ul style="list-style-type: none"> ・調布への愛が永遠に続くと思う ・財団で「100年後の君へ」というフレーズを掲げている。何世代も先を考えると100年といっても大げさではないかも。 ・持続可能なというワードが良く出ている。良き調布が続いていけば良い。 ・次の世代に繋がる, とか。 ・人生100年時代, 次の100年, というワードは他市の基本構想でも散見される
アクセスできる(情報の観点), 行き届く	<ul style="list-style-type: none"> ・市が持っている資源を全員に広げられるような状態があるとよい。目の前に広がっているからこそそこから好きに情報を取れる状態があるべき姿。 ・発信されていないと。情報が置いてある状態だけではなく発信も必要。情報が取れる状態。 ・情報の見える化に注力することは大前提。

<p>「映」「深」 (調布らしい言葉を入れる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「映画のまち調布」から「映」 ・深大寺のイメージから「深」 ・調布のまち全体がスクリーン・パレット、それぞれの主体がパレットになってひとつの絵になるみたいなイメージ。調布というキャンバスに個々の色がのっていて、それが永遠につながっていく、みたいなイメージはどうか。
--	---

- ・キャッチーで印象に残る基本構想の文言がよい(なんだろうと気になる) ※川崎は市のブランディングとして「カラーズフューチャー」というのを駅に貼ってある
- ・調布らしいピリッとしたワードがほしい
 (案)「映」(映画のまち調布のイメージ), 「深」(深大寺のイメージ)
 (分科会3)

まちの将来像に掲げたいキーワード	キーワードに込めた想い
先進性	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいものを積極的に取り入れ、発展させていく。 ・やさしさがありながらも先進性は求めていく必要がある。先進性を求めていかないと衰退していく。 ・国際性や芸術性などの要素も含めて
将来につなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐには2つの意味がある。一つは、今ある素晴らしい調布の資産(モノ・コト)を先につなぐ、二つは、今ある課題となっているものを解決して改善した社会を次世代につなぐ。この二つの意味を込めて次世代につなげていきたい。 ・現在、持続可能性がないので、そこを目指すためのメッセージとして“つなぐ”という表現に想いを込める ・都市化が進み人口が増える中、市民が大切にしている豊かな緑や畑が存在する風景が次世代も享受できるようなまちにしたい ・将来につなげる、持続可能という表現を言い換える言葉でもある ・「今と未来」をつなぐ、「人と自然」をつなぐ、「人と人」をつなぐ、「次世代に」つなぐなど、いろいろな意味で使用できる
やさしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ひととのつながり、利便性、交通環境など不便を感じずに暮らせるまちを目指したいという想い ・人にやさしい ⇒道路環境、バリアフリー、ウォーカブルにつながる ・環境にやさしい ⇒水や緑の保全につなげていきたい
(他にも)	
次世代につなぐ	<p>都市化が進み人口が増える中、市民が大切にしている豊かな緑や畑が存在する風景が次世代も享受できるようなまちにしたい</p>

利便性とやすらぎ	街の利便性も暮らしには大事な要素であるが、やすらぎを感じる事ができるのは、広い空と地上の緑や水の流れが大切であることから、(経済的)発展と自然空間維持のバランスを保つまちにしたい。
豊かさ	<ul style="list-style-type: none"> ・物資面においても精神面において充実した気持ちで過ごせる(暮らせる)街にするために、「豊かさ」という言葉で人それぞれの精神的充実を表現したい ・人々の生活の快適な、充実感、街並み・景観の美しさなどを表現するキーワードとしたい。
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なまち(世界)を形成するため、まちの将来像においては、未来へつなぐ、次世代につなぐ、という想いを込めたい(持続可能という言葉の言い換えとして) ・「今と未来」をつなぐ、「人と自然」をつなぐ、「人と人」をつなぐ、「次世代に」つなぐなど、いろいろな意味で使用できる
行動(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を良くしていくためには、理念・方針と同じくらい「行動することができる」「実行すること」が大切であるため、前に進むという想いを込めたい ・必要性を感じていても実際に行動に移すのはなかなか難しいので、目標を実現していくために、「結果より行動すること」「小さい一歩でも行動に移すこと」そのようなことを大切にしている人がたくさんいるまち、また、そのようなことができる環境があるまちに、という想いを込めたい ・今を良くするためにも、8年後、30年後の未来を良くするためにも、今から小さくても「行動」することが大切だと思うので
脱炭素先進都市	ゼロカーボンの達成を目指すというメッセージ
市民参加型の課題解決先進都市	政策決定過程において市民が参加し、議論を行う。
デジタル先進都市	デジタル活用なくして、効率的で有効な施策をうつことはできない。→先進都市になれない IT企業の誘致などの取組によりデジタル先進都市を目指す
調布らしさ	様々ジャンルで高水準でありたい。他市との差別化
共生	自然が減少していくなかで、保全をしつつ共生できるまちをつくっていく。

やさしさ	ひととのつながり, 利便性, 交通環境など不便を感じずに暮らせるまちを目指したい
将来につながるまち	持続可能なまちがベースの考え。
スマートなまち	福祉やまちづくり, デジタル化を含めてスマートなまち
多様な主体が共生できるまち	市が取り組む事業で多様な主体が参加できるまち
愛されるまち	いろいろな人から愛されるまち(市民だけではなく, 市を訪ねる人も含め)
将来, 次世代, 100年度	
市民参加型課題解決	PDCA サイクルに市民が入る意識がないので, ここに参加していきたい 双方向コミュニケーション
寄り添う	民間企業だけに寄り添うだけでなく, 市民に寄り添う行政であってほしい。市民の想いを聞いてほしい
快適	快適なまちづくりが目標になる。みどりや農地, まちづくりなど進めば快適な暮らしができる
やさしさ	人にやさしい ⇒道路環境, バリアフリー, ウォーカブルにつながる環境にやさしい ⇒水や緑の保全につなげていきたい
魅力あられる	市街地整備 ⇒地域ごとの特徴に応じたまちづくり, 自然環境と調和したまちづくりを目指す(市内外の方に魅力を伝える)
つながり	人と人がつながる街づくりは各施策でやっていく必要があるのではないかと感じている。行政だけではなく多様な主体と一緒にやっていく。 人と人がつながる空間をどのように作っていくのか
暮らしやすい	調布市は自然が特徴的であること。 調布駅前について車椅子を利用する人には不便であるという意見が中間報告会であった。さまざまな人が暮らしやすいまちにしたいという想い
ゆとり	忙しい世の中, 快適に過ごすためにゆとりを大切にしたい
持続可能	地域の魅力を作り, 守っていくという想い

にぎわい	人口減少時代の到来を迎えるなか、まちを活性化していきたいという想い
水と緑の公園都市	
国際性, 芸術性	これらの観点をまちづくりに入れていくべき